

令和元年度進行管理・評価シート
堺市歴史的風致維持向上計画（平成25年11月22日認定）

（最終変更 令和2年3月24日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)

1 (項目名) 歴まち計画の円滑な推進に向けた組織体制に関する取組み 1

②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)

1 (項目名) 都市計画・景観計画等との連携および屋外広告物法に基づく施策との連携 2

③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)

1 (項目名) 百舌鳥古墳群整備事業 3

2 (項目名) 重要文化財高林家住宅保存修理事業 4

3 (項目名) 歴史的建造物保存修理事業 5

4 (項目名) 市民と協働した古墳の保存管理に向けた取組み 6

5 (項目名) 堺市地域文化遺産活用活性化事業 7

6 (項目名) ボランティアガイドの育成・支援 8

7 (項目名) 堺市地場産業振興事業補助事業 9

8 (項目名) 堺市伝統産業後継者育成事業補助事業 10

9 (項目名) 堺市ものづくりマイスター制度 11

10 (項目名) 視点場の整備に関する調査検討 12

11 (項目名) まちなみ再生事業 13

12 (項目名) 百舌鳥古墳群に関する情報発信 14

13 (項目名) 百舌鳥古墳群周辺案内板の整備 15

14 (項目名) 百舌鳥古墳群ガイダンス施設の整備 16

15 (項目名) 環濠都市区域内における案内板の改善 17

16 (項目名) 史跡・重要文化財等公開事業 18

17 (項目名) 自転車通行環境の整備 19

18 (項目名) 学校教育の場での茶の湯体験 20

④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)

1 (項目名) 文化財調査、指定、保存管理(活用)計画の策定 21

2 (項目名) 文化財の修理事業、文化財の周辺環境の整備事業 22

3 (項目名) 文化財の防災 23

4 (項目名) 埋蔵文化財の取扱い 24

5 (項目名) 文化財に関する普及・啓発の取組み、
民間団体への助成・支援や連携・協力した取組み 25

⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)

..... 26

⑥その他(効果等)(様式1-6)

1 (項目名) 文化観光拠点整備事業関連の取組み 27

2 (項目名) 堺茶の湯文化の振興事業 28

3 (項目名) 環濠都市堺の再生事業 29

4 (項目名) 子ども観光ガイドの実施 30

5 (項目名) 自転車タクシー走行実験の実施 31

6 (項目名) 「SAKAI散走」の実施 32

7 (項目名) 民間事業者主導によるシェアサイクルの導入の検討 33

8 (項目名) 第5回近畿歴史まちづくりサミット in堺の開催 34

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)

..... 35

評価軸①-1
組織体制

	評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況	
歴まち計画の円滑な推進に向けた組織体制に関する取組み	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 計画実現のための推進体制として、歴まちづくり法第11条第1項に基づく「堺市歴史的風致維持向上計画協議会」を「堺市歴史的風致維持向上協議会」に改編し、事業の進捗管理や連絡調整、計画変更に関する協議を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

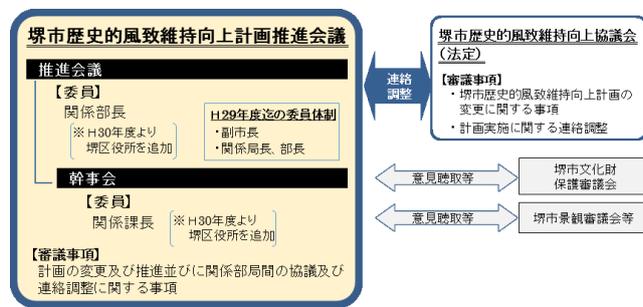
令和元年10月に幹事会を開催し、令和元年度の取組み状況や中間評価案について確認したほか、令和2年度の予算要求も踏まえた事業予定に関して情報共有・意見交換を行った。
 また、令和2年1月から3月にかけて幹事会、推進会議及び協議会を開催し、令和元年度の進捗状況や中間評価の内容についての確認等を行った。
 ○令和元年11月5日 推進会議幹事会開催、令和2年2月4日 推進会議幹事会開催
 ○令和2年2月14日 推進会議開催、

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

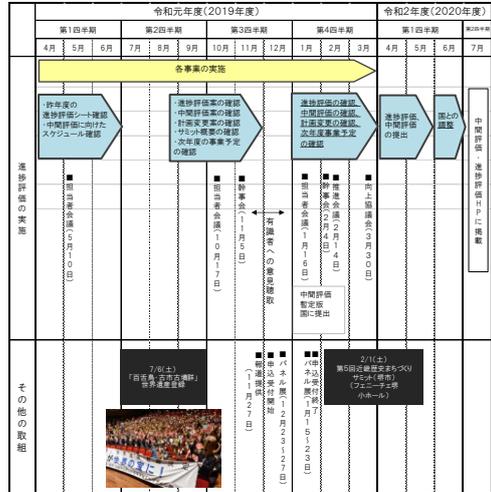
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	令和2年3月30日開催予定の協議会は新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止することを目的として中止し、書面開催とした。
--	--

状況を示す写真や資料等

○庁内の推進体制



○令和元年度取組スケジュール



○堺市歴史的風致維持向上計画推進会議及び協議会の開催



第1回推進会議幹事会(令和元年11月5日)



第2回推進会議幹事会(令和2年2月4日)



堺市歴史的風致維持向上計画推進会議(令和2年2月14日)

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
都市計画・景観計画等との連携および屋外広告物法に基づく施策との連携		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

重点区域について、景観計画の取組みと連携し、歴史的風致の維持向上を図る。地域特性を踏まえた景観形成基準を策定し、都市計画法や景観法に基づく各種手法を活用するほか、景観重要建造物の指定や屋外広告物のあり方などを検討するなど、きめ細かい景観形成を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

百舌鳥古墳群及び周辺区域において、世界文化遺産登録も視野に古墳のあるまちとして相応しい景観づくりの一環として、平成28年に高度地区による「建築物の高さ制限」、景観地区による「建築物の色彩などの形態意匠の制限」、屋外広告物条例による「屋外広告物の大きさや高さ等の制限」を実施した。

以後、景観地区の認定申請を通して、景観アドバイザー会議等も活用し、建物の色彩等の調和を図るとともに、同区域における既存不適格広告物の適正化に向けた補助金制度を活用し、早期適正化に向けた取組みを実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○景観地区認定申請件数

景観地区認定申請件数					
	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	合計
申請件数	56	88	62	52	258



アドバイザー会議

○屋外広告物適正化補助金制度の活用

百舌鳥古墳群周辺地域における屋外広告物の適正化(件数)					
	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	合計
補助金活用	2(1)	4(4)	9(9)	11(6)	26(20)
自費改修	3(1)	8(2)	16(2)	16(1)	43(6)
計	5(2)	12(6)	25(11)	27(7)	69(26)

※()は屋上広告物の適正化件数を示す。

○屋外広告物適正化事例



屋上広告物の撤去事例



屋上広告物の撤去事例



自立広告塔の改修事例



自立広告塔の撤去事例

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
百舌鳥古墳群整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成24年度～

支援事業名 国宝・重要文化財等保存整備費補助金(歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業)

計画に記載している内容 百舌鳥古墳群の整備基本計画及び保存管理計画を策定し、古墳の整備及び修景、並びに適切な維持管理を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和元年度は、昨年度発掘調査を行った御廟表塚古墳の発掘調査報告書の刊行に向けた整理作業を行った。また御廟表塚古墳の整備に向けた現況測量を実施した。
 いたすけ古墳や長塚古墳、塚廻古墳、丸保山古墳において樹木や竹の伐採など環境整備事業を実施し、墳丘の保護と視認化を図った。このことにより各時代に培われてきた多様な歴史・文化資源の保存と活用が図られる。
 令和3年度に御廟表塚古墳整備基本設計を実施。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



御廟表塚古墳環境整備事業(除草後)(令和元年7月)



御廟表塚古墳 現地測量作業風景(令和2年1月)

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
重要文化財高林家住宅保存修理事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成30年度～令和元年度

支援事業名 所有者 国宝・重要文化財等保存整備費補助金

計画に記載している内容 屋敷地内の土蔵等については白蟻被害等が大きく老朽化が著しいため、保存修理工事を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

所有者、国との協議を進め、平成29年度から主屋等の修理を実施。
 ○平成29年度 設計業務・保存修理工事／平成30・31年度 保存修理工事
 ○平成30年度 主屋茅の葺き替え、不動堂木部補修、瓦葺き
 ○平成30年2月24日、6月3日に修理中の現場を一般公開
 ○令和元年5月31日竣工
 これらを進めることにより各時代に培われてきた多様な歴史・文化資源の保存と活用が図られる。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



高林家住宅主屋竣工全景



高林家住宅不動堂竣工全景

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
歴史的建造物保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～令和4年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容

景観計画で重点的に景観形成を図る地域として位置付けている堺環濠都市地域において、歴史的街なみを構成する上で重要な鉄砲鍛冶屋敷(井上家住宅)をはじめとした歴史的価値の高い建造物について保存修理を行い、活用を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 「堺市指定有形文化財井上関右衛門家住宅(鉄砲鍛冶屋敷)保存修理工事設計業務」完了
- 「堺市指定有形文化財井上関右衛門家住宅(鉄砲鍛冶屋敷)保存修理工事(その2)」落札
- 「堺市指定有形文化財井上関右衛門家住宅(鉄砲鍛冶屋敷)保存修理工事(その2)に伴う電気設備工事」落札
- 鉄砲鍛冶屋敷に伝わる歴史資料について、月2回のペースで、所有者やボランティアと共に調査を実施。
- 秋季堺文化財特別公開で建物座敷部の公開及び資料展示(令和元年11月1, 2, 3, 4日 参加者人数1,152人)これらを実施することで各時代に培われてきた多様な歴史・文化資源の保存と活用が図られる。

進捗状況 ※計画年次との対応

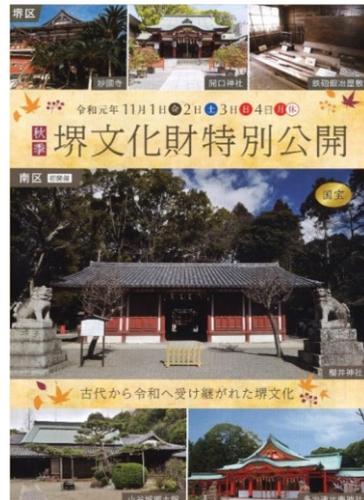
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



特別公開の様子(令和元年11月3日)



特別公開のチラシ



資料調査の様子(令和元年1月9日)



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
市民と協働した古墳の保存管理に向けた取組み		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成17年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
 古墳を将来にわたり末長く保存・管理していくためには、地域住民を中心に市民の理解と協力が必要である。そのため、市ではシンポジウムや講演会を開催し、百舌鳥古墳群や各々の古墳について市民が学び、考える機会を創出する。また、市民ボランティアが中心となって実施する古墳の清掃・美化活動について、ホームページへの掲載等の広報活動を行い、市民と行政が協働した保存管理に向けた相互の意識醸成を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

イベントなどの開催により、古墳への理解が深まると共に、古墳の保存管理に向けた市民の意識醸成が図られた。

- 平成31年4月13日(土) 第4回クボタ塚感謝デー【検塚古墳見学ツアー】(クボタ塚工場との連携)
- ウォーキングイベントの開催
 - ・令和元年5月12日(日) 親子で楽しむ古墳めぐりウォーキング(塚ライオンズクラブに協力 於:大仙公園)
- 市民主体の清掃活動の実施
 - ・令和元年11月3日(日) 第28回仁徳陵をまもり隊による清掃活動を実施(仁徳陵をまもり隊に協力 於:仁徳天皇陵古墳周辺) 参加人数:384人
- 令和元年11月23日(土)～12月7日(土)「百舌鳥古墳群魅力発掘講座～初めて学ぶ方のために～」(全3回)を開催 参加人数:94人(3回合計)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
 - 計画どおり進捗していない
- 今後も保存管理の意識の醸成を図るため、古墳群の価値をより多くの方に理解していただけるよう、市民や民間事業者とさらに連携し、講演会やウォーキングのイベントを開催していく必要がある。

状況を示す写真や資料等



第4回クボタ塚感謝デー
(平成31年4月13日)



親子で楽しむ古墳めぐりウォーキング
(令和元年5月12日)



第28回仁徳陵をまもり隊による清掃活動
(令和元年11月3日)



百舌鳥古墳群魅力発掘講座
(令和元年11月23日～12月7日)

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
堺市地域文化遺産活用活性化事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～

支援事業名 文化遺産総合活用推進事業

計画に記載している内容 伝統文化の保存伝承団体等により構成される「堺市地域文化遺産活性化実行委員会」(事務局:堺市文化財部)が、地域文化遺産の保存伝承を目的に事業を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化遺産総合活用推進事業(地域文化遺産活性化事業)

○地域の文化遺産次世代継承

普及啓発事業として、堺の手織緞通や和晒・注染、手描き鯉幟など、堺の伝統的な工芸技術をはじめとした文化遺産を市民に広く普及し、理解を深めるため、町家歴史館など文化財公開施設を主な会場としてワークショップ事業を4回実施。今まで注目されてこなかった地域の文化遺産に対する市民の認知度が上昇するとともに、市民が地域の文化遺産を再発見し自らの地域を活性化していこうという意識醸成が図られた。

○伝統文化継承基盤整備

記録作成事業としては、だんじりやふとん太鼓の修理過程や曳行の様子を記録に残し、後継者養成事業では、講習会等により技術や歴史文化の継承につとめた。国選択・大阪府指定無形民俗文化財上神谷のこおどり用具等整備事業など合計20事業を実施することにより、地域の伝統文化継承の基盤を整備し、地域の伝統文化を一層活性化させることができた。

「堺市地域文化遺産活性化実行委員会」構成団体(令和元年度)

堺こおどり保存会・船待神社神楽子供獅子保存会・美多彌神社流鏝馬保存会・堺式手織緞通技術保存協会・開口神社八朔祭伝統文化保存継承委員会・百舌鳥八幡宮月見祭伝統文化保存伝承実行委員会・陶荒田神社文化財推進実行委員会・石津神社秋季大祭保存伝承実行委員会・高松・丈六秋の例大祭保存継承実行委員会・湊地域伝統文化保存伝承実行委員会

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



堺の伝統工芸・文化遺産ワークショップ事業
(令和2年2月23日撮影)



百舌鳥八幡宮月見祭伝統文化用具等整備事業
百舌鳥八幡宮月見祭伝統文化保存伝承実行委員会
(令和元年9月14日撮影)



国選択大阪府指定無形民俗文化財上神谷のこおどり用具等整備事業
堺こおどり保存会
(令和元年10月6日撮影)



船待神社神楽子供獅子踊り後継者養成事業
船待神社神楽子供獅子保存会
(令和元年9月14日撮影)

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
ボランティアガイドの育成・支援		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成7年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	<p>(公社)堺観光コンベンション協会、NPO法人堺観光ボランティア協会と連携し、歴史文化資源を中心に市内の主な観光スポットでボランティアガイドが案内を行っている。</p> <p>今後、本市の歴史文化資源に関する市内外への発信等に伴い、来訪者の増加も見込まれることから、更なるボランティアガイドの育成や、月1回程度の情報交換会の実施、新たな施設の実地研修などを通じて、その知識や技能の向上に向けた取り組みを実施する。</p>		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<p>研修・勉強会等の実施により、ボランティアガイド全体の知識や技能が向上したほか、来訪者対策の充実が図られた。</p> <p>○堺観光ボランティア入門講座 令和元年5月8日～7月10日、全11回</p> <p>○その他研修・勉強会</p> <p>4月：28期生市役所展望ロビー小学校社会見学研修(2日間) 参加人数：16人 自転車博物館特別展勉強会 参加人数：28人 28期生まち歩き勉強会① 参加人数：11人</p> <p>5月：第1回全体研修会「古市古墳群の魅力」(2日間) 参加人数：129人 28期生まち歩き勉強会② 参加人数：11人</p> <p>6月：古墳めぐり勉強会 参加人数：27人 世界文化遺産研修 参加人数：92人 28期生6か月フォローアップ研修 参加人数：12人 28期生まち歩き勉強会③ 12人</p> <p>7月：世界文化遺産研修 参加人数：40人 28期生まち歩き勉強会④ 参加人数：12人</p> <p>9月：キャップ・ハンディ講習会 参加人数：27人</p> <p>10月：ツアーガイドの為の検定に向けて堺市博物館研修 参加人数：38人</p> <p>11月：29期生対象まち歩き勉強会① 参加人数：11人 会員交流会「神戸コース」 参加人数：34人</p> <p>12月：妙國寺研修 参加人数：23人 堺伝統産業会館研修 参加人数：25人 会員交流会「岩出・紀の川コース」 参加人数：47人 29期生対象まち歩き勉強会② 参加人数：11人</p> <p>1月：マナー研修会 参加人数：67人 29期生対象まち歩き勉強会③ 参加人数：11人 29期生6ヶ月フォローアップ研修 参加人数：12人 28・29期生対象阪堺電車勉強会 参加人数：24人</p> <p>2月：自転車博物館特別展勉強会 参加人数：26人 ぐるっと堺勉強会 参加人数：39人 第2回全体研修会「鉄砲鍛冶屋敷」 参加人数：65人</p>			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	令和2年2.3月実施予定の研修等は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止することを目的として、中止、延期することとなった。		



研修の様子

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
堺市地場産業振興事業補助事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成13年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	刃物や線香をはじめとする地場産業を営む中小企業者により組織された団体の事業活動にかかる経費の一部を補助することにより、地場産業の振興を図る。 【補助対象事業】 ①地場産業振興事業 ……経営の近代化及び合理化に関する事業、販路の開拓に関する事業、各種情報の収集に関する事業 ②ものづくり基盤技術継承事業……後継者の育成に関する事業、技術・技法の記録、収集及び保存に関する事業		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
刃物、線香など市内地場産業6団体に対し、本補助金を交付し、事業活動を支援。イベントなどの開催を通して、地場産業のPR及び販路の拡大が図られた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
○注染・和晒の販路開拓を目的としたイベントの開催 (令和元年7月20日)			
○刃物の販路開拓を目的としたイベントの開催 (平成31年4月20～21日)			
○市内施設等での地場製品の展示 (通年)			

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
堺市伝統産業後継者育成事業補助事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成21年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 刃物(経済産業大臣指定伝統的工芸品)や線香(大阪府知事指定伝統工芸品)などの伝統技能の継承を図るため、後継者を雇用した事業者に人件費の一部を補助する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市内伝統産業事業者に対し、本補助金を15件(28名)交付し、後継者育成を支援。このことにより、「もののはじまり何でも堺」に象徴される伝統の継承と振興が図られた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○刃物製造技法の指導育成



○染色(注染)技法の指導育成



評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
堺市ものづくりマイスター制度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成14年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	伝統産業への市民等の理解を深めるため、市が卓越した技能を持つ者をマイスターとして認定し、実演・体験講座などの講師として派遣する。平成24年(2012)6月現在で対象とする刃物、線香等の部門で伝統工芸士ら19名を認定している。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
マイスターの実演・体験講座を通して、伝統産業への理解が深まった。 マイスター派遣等件数 55件 参加人数 2,096人 (マイスター派遣等の内訳 刃物26件、線香5件、和菓子17件、鋏2件、注染5件)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
○刃物体験講座			
○線香体験講座			
○和菓子体験講座			

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
視点場の整備に関する調査検討		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
 古墳あるいは古墳群を望むことができる視点場(ビューポイント)について、必要な調査検討を行う。古墳の形態的な特徴を一番理解し捉えられる場所(例えば古墳の前方部と後円部のくびれ部にある「造り出し」から上空への広がりを見望する場所)や古墳あるいは古墳群の持つスケールの大きさなどを体感できる場所について調査を行い、江戸時代の絵図も参考に古墳がかつてどのように見られてきたかという視点を持ちながら、視点場としての整備が必要な箇所について、周遊路整備との整合を図りながら、その整備手法等についても検討する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

履中天皇陵古墳北側の視点場について、平成29年度に整備が完了。
 ウォーキングマップや百舌鳥古墳群周遊ナビにビュースポットとして掲載するなど、古墳群周遊路の利便性の向上にも寄与している。
 その他の古墳の視点場については、引き続き調査検討中。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



視点場整備位置図



履中天皇陵古墳ビュースポット

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
まちなみ再生事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成25年度～令和4年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	景観計画で重点的に景観形成を図る地域として位置付けている堺環濠都市地域のうち、改修が進められた町家歴史館「山口家住宅」をはじめとする町家のほか、多くの寺社が立地する寺町など、歴史的建造物が多く残る北部とその周辺(堺環濠都市北部地区)について、歴史文化資源を活かしたまちなみの再生を図ることにより、堺の魅力向上を実現する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
修景事業を実施してまちなみ再生に寄与したほか、協議会との協働により、協議会ニュース(vol.21、vol.22、vol.23、vol.24)の発行や、地域の懐かしい行事である「地蔵盆の行灯」の作成ワークショップ、当地区の景観規制に向けた勉強会の開催、町なみ再生イベント週間展示、町なみ再生連続講座(第1、2回)等により、地域の歴史的なまちなみ保全、形成に向けた意識醸成が図られた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	令和2年3月28日開催予定の連続講座は新型コロナウイルス感染症の拡大を防止することを目的として延期とした。		
状況を示す写真や資料等			

○令和元年度の機運醸成等の取組み

令和元年度の取組み(公民協働の取組み)	
令和元年5月	第8回総会開催 第1回景観規制に向けた勉強会開催
令和元年6月	協議会ニュースvol.21発行 第2回景観規制に向けた勉強会開催
令和元年7月	第1回地蔵盆の行灯作成ワークショップ開催
令和元年8月	第2回地蔵盆の行灯作成ワークショップ開催 地蔵盆開催
令和元年10月	協議会ニュースvol.22発行 町なみ再生イベント週間 「町なみ再生と景観～協議会の歩み～」の展示
令和元年12月	協議会ニュースvol.23発行
令和2年1月	町なみ再生連続講座(第1回)
令和2年2月	町なみ再生連続講座(第2回)
令和2年3月	協議会ニュースvol.24発行

・協議会ニュースvol.21、Vol.22、Vol.23、Vol.24 発行



・第8回定期総会ならびに第1回景観規制に向けた勉強会開 第2回景観規制に向けた勉強会開催



・地蔵盆の行灯(あんどん)作成ワークショップ実施状況



第1回(令和元年7月20日)

第2回(令和元年8月10日)



地蔵盆開催状況(令和元年8月23日)

・町なみ再生イベント週間展示の開催(令和元年10月28日～11月3日)



○令和元年度の修景事業



【おもな修景内容】
ゴミ置き場壁面の築地壁風仕上げ、
エントランスファサードへの格子取付等

(改修前)

(改修後)



【おもな修景内容】
屋根瓦葺き替え、外壁の土壁及び杉板補修、開口部木製格子取付、塀の焼杉板補修等

堺環濠都市北部地区修景事業件数						
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	合計
修景事業 件数	1	4	7	4	2	18

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度
		現在の状況
百舌鳥古墳群に関する情報発信		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成17年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
 百舌鳥古墳群を将来にわたり末長く保存・管理していくためには、市民はもちろん、国内外にその価値と魅力を情報発信していく必要がある。①インターネットによる情報発信 本市のホームページにおいて百舌鳥古墳群の価値や魅力をCGなども活用し紹介する。②シンポジウムや講演会の実施 市民向け講演会や、海外からの有識者を招きシンポジウムを開催するなど、百舌鳥古墳群の価値や魅力を紹介する。③パンフレットやポスターによる情報発信 他言語によるパンフレットを作成し、関西国際空港での配架をはじめ、ポスターも作成し、様々な場所でPRを実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

以下の事業を進めることで歴史豊かな堺の都市魅力の発信と共有に繋がった。

○本市ホームページを活用し、タイムリーな情報発信をおこなった。

○各種団体、民間企業と連携したPRの実施

- ・令和元年5月9日(木)～11日(土) 高野山での百舌鳥・古市古墳群のPR(於:高野山観光情報センター)
- ・令和元年5月14日(火) イコモス勧告PR活動(堺市民の会主催 於:大仙公園)
- ・令和元年7月5日(金)・6日(土) 百舌鳥・古市古墳群世界遺産委員会パブリックビューイングの開催(堺市民の会と連携 於:フェニーチェ堺)
- ・令和元年7月14日(日)「百舌鳥・古市古墳群」世界遺産登録記念 提灯行列の開催(堺市民の会と連携 於:大仙公園)
- ・令和元年7月15日(月・祝) 百舌鳥古墳群シンポジウムの開催(関西大学と連携 於:関西大学千里山キャンパス)
- ・令和元年7月28日(日) 百舌鳥古墳群シンポジウムの開催(関西大学と連携 於:東京コンベンションホール)
- ・令和元年8月10日(土)・11日(日) プチフェスタ堺in令和での百舌鳥・古市古墳群のPR(於:KITTE丸の内)
- ・令和元年9月15日(日) 百舌鳥・古市古墳群世界遺産登録記念シンポジウムの開催(百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議と連携 於:りそなグループ大阪本社ビル)
- ・令和元年11月1日(金)～3日(日) 関空PRイベントの開催(百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議と連携 於:関西国際空港)
- ・令和元年11月12日(木) アサヒスーパードライ「百舌鳥・古市古墳群デザインラベル」販売記念イベント(アサヒビール(株)、百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議と連携 於:大阪府庁)
- ・令和元年11月5日(火)～14日(木) 世界遺産一覧表記載認定書(レプリカ)と古墳パネルの展示(於:堺市役所21階展望ロビー)
- ・令和元年11月15日(金)～12月26日(木) 世界遺産一覧表記載認定書(レプリカ)の展示(於:堺市役所本館1階)
- ・令和2年1月27日(月) 関西元気文化圏賞授賞式に出席(百舌鳥・古市古墳群世界遺産保存活用会議と連携 於:リーガロイヤルホテル大阪)

○PRちらしやポスターを作成し、PR効果が見込める場所に配架・掲出を行った。

○スマートフォン向けの周遊支援アプリを運営。

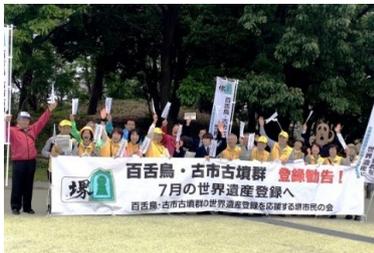
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

世界遺産登録が実現し、今後は、古墳群の価値と魅力や、維持・保全に向けた啓発を市内のみならず、府内はもとより、関西、全国へ行う必要がある。

状況を示す写真や資料等



イコモス勧告PR活動
(令和元年5月14日)



世界遺産委員会パブリックビューイング
(令和元年7月5・6日)



世界遺産登録記念 提灯行列
(令和元年7月14日)



プチフェスタ堺in令和
(令和元年8月10・11日)



認定書(レプリカ)とパネル展示
(令和元年11月5日～14日)



関西元気文化圏賞授賞式
(令和2年1月27日)

評価軸③-1
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
百舌鳥古墳群周遊案内板の整備		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～
 支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 百舌鳥古墳群に親しみながら周遊できるよう、来訪者の利用が見込まれる鉄道駅や周遊ルートで、市内外からの来訪者にとってわかりやすい案内板の設置計画を策定し、整備に取り組む。

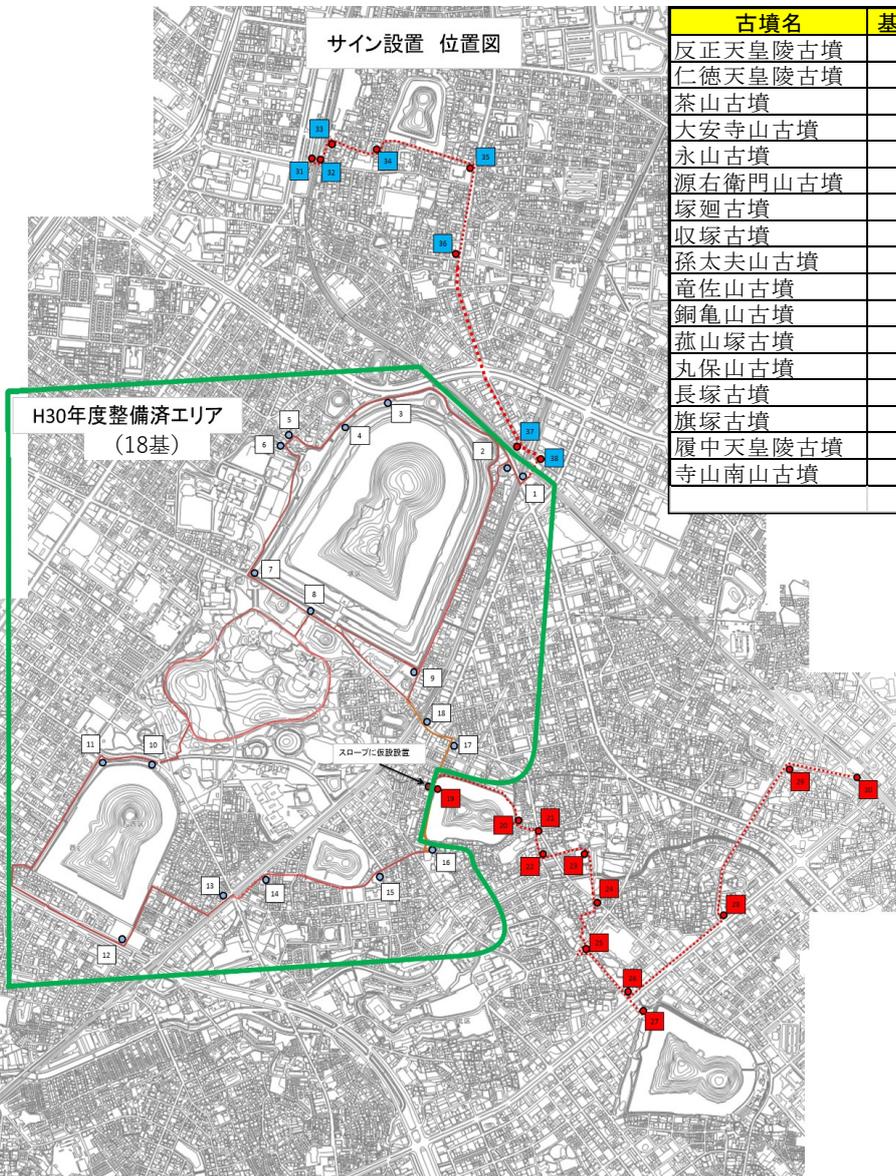
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で
 百舌鳥古墳群周遊路の誘導案内板及び古墳解説板を整備(設置計画に基づく新設及び既存のサインを含めた意匠の統一・古市古墳群とのサイン統一)したことにより、百舌鳥古墳群及び周辺区域の周遊性が向上した。
 ○誘導案内板 38基設置 内令和元年度20基設置
 ○古墳解説板 39基設置 内令和元年度0基(平成30年度までに設置済み)
 ○既存のサインを含めた意匠の統一及び古市古墳群とのサイン統一が全て完了。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

誘導案内板位置図	古墳解説版設置数
----------	----------



古墳名	基数	古墳名	基数
反正天皇陵古墳	1	七観音古墳	1
仁徳天皇陵古墳	1	いたすけ古墳	2
茶山古墳	1	善右エ門山古墳	1
大安寺山古墳	1	御廟山古墳	1
永山古墳	1	ニサンザイ古墳	3
源右衛門山古墳	1	鈴山古墳	1
塚廻古墳	1	樋の谷古墳	1
収塚古墳	1	狐山古墳	1
孫太夫山古墳	1	グワシヨウ坊古墳	1
竜佐山古墳	1	乳岡古墳	1
銅亀山古墳	1	御廟表塚古墳	1
孤山塚古墳	1	定の山古墳	1
丸保山古墳	1	文珠塚古墳	1
長塚古墳	1	鏡塚古墳	1
旗塚古墳	1	ドンチャ山古墳	1
履中天皇陵古墳	3	正楽寺山古墳	1
寺山南山古墳	1	天王古墳	1
		合計	39



仁徳天皇陵古墳解説板



誘導案内板

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度
	現在の状況	
百舌鳥古墳群ガイダンス施設の整備		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成24年度～令和2年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 市民や来訪者に百舌鳥古墳群の歴史的意義や価値を理解していただき、古墳群の保護意識を醸成するため、古墳群について学び、その雄大さを体感できるガイダンス施設を大阪府立大学旧大仙キャンパス跡地に整備する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○堺市博物館内に設置の百舌鳥古墳群ガイダンスコーナーで、高精細な映像による来訪者向けガイダンスを実施。
 ○(仮称)百舌鳥古墳群ガイダンス施設計画を中止し、大仙公園内にある既存施設(大仙公園レストハウス及び堺市博物館)を活用したガイダンス機能の整備に向けた設計等に着手。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

(仮称)百舌鳥古墳群ガイダンス施設の建設を中止したが、世界遺産登録以降、来訪者が増加しており、百舌鳥・古市古墳群のガイダンス機能の早急な整備が必要であることから、既存施設を改修し、ガイダンス機能の整備を進める。

状況を示す写真や資料等

○百舌鳥古墳群シアター



(外観)



(内部)



百舌鳥古墳群展示コーナー

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
環濠都市区域内における案内板の改善		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成18年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 神社や寺院を中心に設置している既存の施設案内板について、見やすさや分かりやすさなどに配慮した案内板とするため、表示内容の見直しや多言語化を行い、歴史文化資源などの魅力発信と目的地への円滑な移動を誘導する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

環濠都市区域内にある観光案内板の板面更新【総合案内板(堺駅)・周辺案内板(錦之町西)・周辺案内板(宿屋町西)・周辺案内板(材木町東)・周辺案内板(熊野町西)・周辺案内板(市之町東)・周辺案内板(戎島町)・周辺案内板(少林寺町東)・周辺案内板(東湊町)・誘導案内板(市之町東(3))・誘導案内板(熊野町東(2))の11箇所】を実施することにより、来訪者が快適に周遊できる受入環境の向上に寄与した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



【更新後】

評価軸③-19

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
史跡・重要文化財等公開事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成10年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 非公開の史跡や重要文化財の公開等を実施し、また歴史文化についての講座を開催し、広く市民に文化財の普及啓発を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○令和元年秋季堺文化財特別公開
 ・開催日程: 令和元年11月1日(金)～4日(月・休)の4日間
 ・公開箇所: 妙國寺、南宗寺、大安寺、小谷城郷土館、多治速比売神社、櫻井神社、鉄砲鍛冶屋敷、本願寺堺別院、宝珠院、方違神社、開口神社、伸庵の12箇所
 ・来場者数: 54,906人(関連施設含む)、17,444人(公開箇所のみ)
 これらの事業を進めることで文化財への理解が深まり、歴史の重層性により育まれた堺の都市魅力の発信と共有に繋がった。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

令和2年3月開催予定の令和2年春季堺文化財特別公開は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止することを目的として、延期することとなった。

状況を示す写真や資料等



秋季文化財特別公開(多治速比売神社)



秋季文化財特別公開(櫻井神社)

評価軸③-1
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度 現在の状況
自転車通行環境の整備			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成26年度～		
支援事業名	防災・安全交付金(道路事業)		
計画に記載している内容	歩行者・自転車利用者の安全を確保するため、自転車通行環境の整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
府道大阪和泉泉南線線における自転車レーンの整備 (令和元年度実施0.8km/計画延長1.3km)			
令和元年度末で0.8km 令和2年3月完了			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

大阪和泉泉南線位置図



施工前



施工後

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度
			現在の状況
学校教育の場での茶の湯体験(堺スタンダード事業)			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成13年～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 千利休生誕の地・堺に育つ子どもたちが「茶の湯」の体験を通じて、自国の伝統文化を知るとともに、茶道において大切にされている「もてなしの心」や人とのかかわり方を学び、豊かな心を育むことをねらいとして「茶の湯体験」を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成28年度は小学校93校、中学校27校で茶の湯体験を実施。
 平成29年度は小学校91校、中学校29校で茶の湯体験を実施。
 平成30年度は小学校91校、中学校27校、支援学校2校で茶の湯体験を実施。
 令和元年度は小学校92校、中学校37校で茶の湯体験を実施。
 伝統文化に触れる機会を創出し、茶の湯への理解と意識の醸成を図った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



西陶器小学校での体験状況(令和2年1月25日)

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
文化財調査、指定、保存管理(活用)計画の策定		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 指定および登録等の候補となる文化財に関する調査を継続する。市域の文化財の総合的な把握をより推進するとともに、文化財指定等を促進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○令和元年11月15日「筒井家住宅」を国登録有形文化財に答申
 ○令和2年3月19日「木造薬師如来坐像」「日置荘西町窯跡群出土須恵器製作用具」「紙本墨書雑阿含経卷第三十六」を堺市指定文化財に指定
 これらを進めることで、各時代に培われてきた多様な歴史・文化資源の保存と活用に繋がる。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



筒井家住宅(撮影:市川靖史)



紙本墨書 雑阿含経 卷第三十六



木造薬師如来坐像)



日置荘西町窯跡群出土 須恵器製作用具

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
文化財の修理事業、文化財の周辺環境の整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 町家等の歴史的建造物を指定の基準に沿って歴史的風致形成建造物に指定し、所有者等の意向や建造物の損傷状態の調査を行い、保存・修理・修景に対する助成を行う。
 百舌鳥古墳群では、平成28年度より整備基本計画の策定に着手し、古墳の修景や復元等の整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

以下の事業を進めることで文化財への理解を深め、各時代に培われてきた多様な歴史・文化資源の保存と活用が図られた。
 「百舌鳥古墳群整備事業」(再掲:評価軸③-1:P3を参照)
 「重要文化財高林家住宅保存修理事業」(再掲:評価軸③-1:P4を参照)
 「歴史的建造物保存修理事業」(再掲:評価軸③-1:P5を参照)
 「視点場の整備に関する調査検討」(再掲:評価軸③-1:P12を参照)
 「まちなみ再生事業」(再掲:評価軸③-1:P13を参照)
 「百舌鳥古墳群周辺案内板の整備」(再掲:評価軸③-1:P15を参照)
 「環濠都市区域内における案内板の改善」(再掲:評価軸③-1:P17を参照)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



御廟表塚古墳 測量風景(令和2年1月)



高林家住宅主屋竣工全景

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度
文化財の防災		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 文化財を災害から保護するため、防災意識の高揚、防災設備等の整備を図り、住民、文化財の所有者又は管理者等に対する防災意識の普及と啓発を進めるとともに、消防局並びに関西電力株式会社、大阪ガス株式会社と連携を行い、定期的に防災設備の保守点検等や啓発に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財防火デーの実施

令和2年1月22日～27日 文化財防火デーに伴う合同消防訓練を実施した。

令和2年1月23・24日 市内指定文化財27箇所在所轄消防署、関西電力、大阪ガス、文化財課の合同査察を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



令和元年度 文化財防火デーの様子(令和2年1月22日)

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
埋蔵文化財の取り扱い		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 周知の埋蔵文化財包蔵地内での開発行為の実施にあたっては、開発に伴う文化財保護法に基づく届出又は通知の提出を徹底するとともに、開発に際して埋蔵文化財を確認した場合には、工法の検討や、計画変更によって埋蔵文化財の地下保存などの措置を協議し、遺構の保護に努めるほか、やむを得ない場合は、記録保存などの対応についても速やかに実施していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重点区域内には堺環濠都市遺跡や大山古墳、ミサンザイ古墳等の各古墳、陵西遺跡などの埋蔵文化財包蔵地があり、開発に対しては、文化財保護法による届出または通知に基づき適切に指導している。令和元年度は、堺環濠都市遺跡(SKT1256・1261・1269)で中世の建物跡、道路等を確認した。これらを通して、各時代に培われてきた多様な歴史・文化資源の保存と活用が図られた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



堺環濠都市遺跡(SKT1269) 調査風景(令和元年5月)



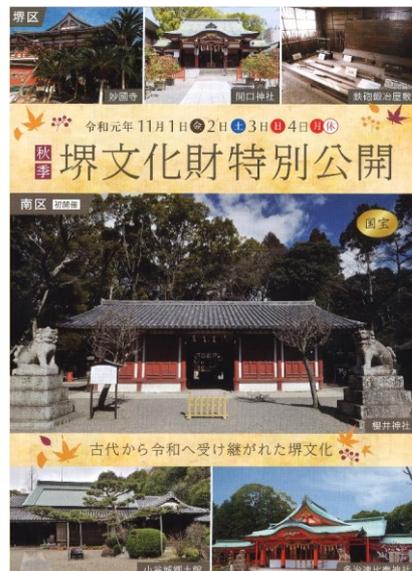
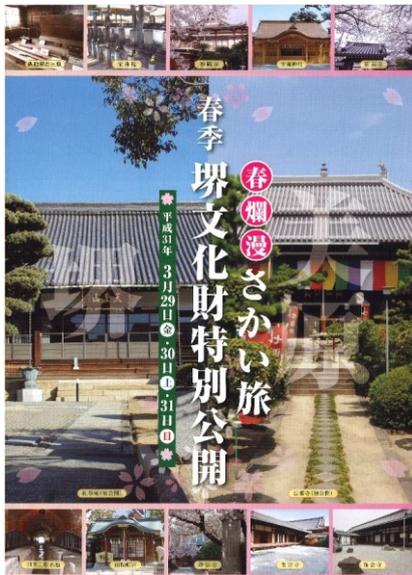
堺環濠都市遺跡(SKT1261) 調査風景(令和元年5月)

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
文化財に関する普及・啓発の取組み、民間団体への助成・支援や連携・協力した取組み		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	本市の文化財の価値を広く後世に伝えるため、文化財の活用を進めながら、観光ボランティアガイドをはじめとする各種団体等と連携を行い、普及・啓発するための機会の提供に努める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
百舌鳥古墳群講演会の開催(令和元年12月15日開催 講演会参加者数:200人 現地見学会92人) 「市民と協働した古墳の保存管理に向けた取組み」(再掲:評価軸③-1 P6を参照) 「堺市地域文化遺産活用活性化事業」(再掲:評価軸③-1 P7を参照) 「ボランティアガイドの育成・支援」(再掲:評価軸③-1 P8を参照) 「百舌鳥古墳群に関する情報発信」(再掲:評価軸③-1 P15を参照) 「史跡・重要文化財等公開事業」(再掲:評価軸③-1 P18を参照) これらの取組を通して歴史の重層性により育まれた堺の都市魅力の一層の発信と共有に繋がった。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



史跡・重要文化財等公開事業堺文化財特別公開パンフレット



百舌鳥古墳群講演会および現地見学会(令和元年12月15日)

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道(主な記事の抜粋)

		評価対象年度	令和元年度
報道等タイトル		年月日	掲載紙等
環濠都市区域関連	利休の茶室復元	2019.4.2	読売新聞
	堺の鉄砲 江戸時代も活況	2019.4.18	産経新聞
	鉄砲生産 泰平の江戸期も	2019.5.13	朝日新聞
	プラタモリ「古墳のまち・堺～巨大古墳は日本の歴史を動かした」	2019.5.25	NHK
	あさイチ「JAPA-NAVI 大阪・泉州」	2019.6.6	NHK
	えネトコ選「これぞ堺オリジナル！いい物&すごい人」	2019.7.7	NHK
	河口慧海の偉業 ネパールに刻む	2019.7.27	毎日新聞
	鉄砲掃除にクジラのヒゲ	2019.7.30	読売新聞
	和菓子No.1決定 堺でグランプリ	2019.10.31	読売新聞
	学生横綱に贈る「堺大浜記念刀」完成	2019.11.1	産経新聞
クチコミ新発見！ 旅プラ第372回 大阪府堺市	2019.11.3	読売テレビ	
百舌鳥古墳群周辺区域関連	「百舌鳥・古市」世界遺産へ 大山古墳など49基 イコモス「登録が適当」	2019.5.14	毎日新聞
	真相報道 バンキシャ！ 百舌鳥・古市古墳群 世界遺産へ	2019.5.19	日本テレビ
	歴史秘話ヒストリア「巨大古墳誕生 百舌鳥古市古墳群」	2019.5.25	NHK
	英語で古墳案内 堺高生準備着々	2019.6.26	朝日新聞
	堺駅・堺東駅⇄仁徳陵 土日祝 シャトルバス7・6運行開始	2019.6.29	産経新聞
	「百舌鳥・古市古墳群」世界遺産に決定 国内23件目、陵墓は初	2019.7.6	産経新聞
	百舌鳥・古市古墳群を世界遺産登録 ユネスコ 自然遺産含め23件目	2019.7.6	毎日新聞
	「地域の宝が人類の宝に」古墳群、世界遺産決定に歓喜	2019.7.6	朝日新聞
	大阪の古墳群、世界文化遺産に…ユネスコ決定	2019.7.6	読売新聞
	「仁徳陵」世界遺産に登録 ユネスコが決定	2019.7.6	日本経済新聞
	市民ら 3500人 世界遺産登録祝う 堺で記念イベント	2019.7.14	毎日新聞
	フォトぶら【祝！世界遺産登録！仁徳天皇陵エリアで超穴場グルメ&世界記録の剣】	2019.7.20	関西テレビ
	世界遺産への歩み語る	2019.7.29	朝日新聞
	秘密のケンミンSHOW！岡山熱愛！津山ホルモンうどん登場&大阪祝世界遺産	2019.8.1	読売テレビ
	古墳群活用議論シンポに400人 大阪	2019.9.16	読売新聞
	2030 SDGsで変える 貸し自転車で古墳巡りを	2019.10.17	朝日新聞
	古墳群に世界遺産認定書 地元自治体へ伝達式	2019.10.28	産経新聞
	「百舌鳥・古市」世界遺産認定書	2019.11.6	読売新聞
	筒井家住宅 国登録文化財に	2019.11.16	産経新聞
	所さんの目がテン！歴史研究会・古墳時代の暮らしを体験	2019.11.24	読売テレビ
モモコのOH！ソレ！み～よ！【兵動ぶらり堺】	2019.11.30	関西テレビ	
その他	ニュースほっと関西 注染・和晒	2019.7.10	NHK
	いまだこ旅ペダル	2019.7.15	ABCテレビ
	一度は降りたい あんな駅/こんな駅(浜寺公園駅舎)	2019.8.1	朝日新聞
	おとな旅あるき旅 祝！世界遺産登録！話題の堺で夏の美味と伝統を満喫	2019.8.3	テレビ大阪
	れとろ探訪(浜寺公園駅舎)	2019.9.3	朝日新聞
	キャスト 大阪の伝統工芸・注染手ぬぐい	2019.10.30	ABCテレビ
	歴史生かしたまちづくり議論 (サミット開催)	2020.1.9	読売新聞
	近畿歴史まちづくりサミットin堺を開催した	2020.2.4	ジェイコムチャンネル
シティレポ 古墳と自転車のまち堺の魅力を体験	2020.2.15	ジェイコムチャンネル	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
歴史的風致の維持及び向上に記載される事業が行われ報道されることで、市民の歴史的風致に対する関心・認識が高まり「歴史遺産の保存・活用」への啓発に寄与していることが推察される。			
進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし			
状況を示す写真や資料等			

評価軸⑥-1
その他(効果等)

評価対象年度 令和元年度

項目

文化観光拠点における展示の充実による魅力の向上

計画に記載している内容 茶の湯体験等の地域固有の歴史・文化資源について、市内外を問わず数多くの人々が触れ、感じ、共感してもらえる機会を創出することにより、堺の歴史・文化資源が持つ魅力を再認識し、さらなる意識醸成に繋がるなど、その波及効果が期待できることから、歴史的風致の維持向上に寄与する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

○千利休、豊臣秀吉ゆかりの黄金の茶室(復元)を展示公開し、背景となる晩年の利休と秀吉について解説する企画展「黄金の茶室がやってきた」(平成31年1月25日～令和元年5月6日)を開催
 ○堺出身の禅僧で、近代の禅と茶の湯文化に足跡を残した立花大亀和尚の生涯とゆかりの茶道具を展示し、21世紀にあっても色あせることのない大亀和尚の事績と堺との関わりを知っていただく企画展「立花大亀と茶の湯ー3世紀を生きた堺の禅僧ー」を開催(令和元年9月14日～10月20日)
 ○「堺茶の湯まちづくり条例」の制定を記念して、堺が生んだ偉大な先人「千利休」が大成した茶の湯文化及び堺の貴重な伝統的産業である和菓子の魅力を広く発信する「第3回堺W-1(和菓子ワン)グランプリ」を開催(令和元年11月2日)
 これらの取組から歴史の重層性により育まれた堺の都市魅力の発信と共有に繋がった。

○「茶の湯」にまつわる落語、演奏、講演、対談を気軽にお楽しみいただける「知る、聴く、味わう 茶の湯」を開催(邦楽:令和2年1月18日、落語:同年2月15日、講演会:同年2月22日、対談:同年3月7日)
 ○開館5周年を記念し、450年にわたり茶碗づくりを専業とする樂家の15代直入(じきにゆう)による作品と、これからの宇宙開拓を担う人材を育成する土井隆雄宇宙飛行士の活動実績やゆかりの資料とともに、二人からのメッセージや樂茶碗や宇宙に関する解説パネルの展示などを行う企画展「千年の宇宙ー一手のひらの中の宇宙 宇宙の中の人類ー」(企画展:令和2年2月22日～3月22日)

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり
 ■計画の進捗に影響なし 令和2年3月20日に開催予定であった特別対談は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止することを目的として、中止することとなった。

状況を示す写真や資料等

○イベントパンフレット



企画展「黄金の茶室がやってきた」
(平成31年1月25日～令和元年5月6日)



企画展「立花大亀と茶の湯ー3世紀を生きた堺の禅僧ー」
(令和元年9月14日～10月20日)



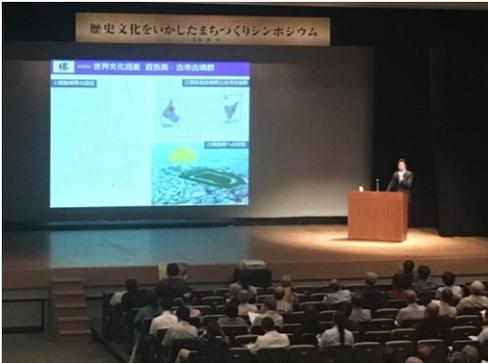
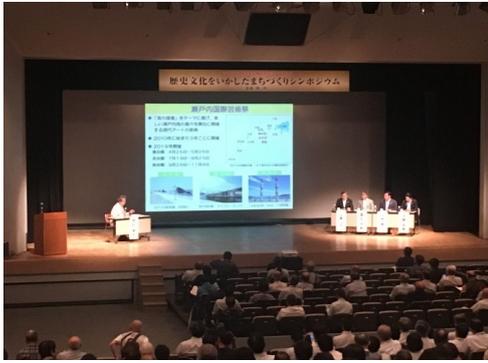
「第3回堺W-1グランプリ」の開催



「知る、聴く、味わう 茶の湯」の開催
(令和2年1月18日、2月15日、22日、3月7日)



企画展「千年の宇宙—手のひらの中の宇宙 宇宙の中の人類—」
の開催(令和2年2月22日～3月22日)

評価軸⑥-1 その他(効果等)		評価対象年度	令和元年度
項目			
茶の湯の魅力向上			
計画に記載している内容	<p>「歴史的風致の維持及び向上に関する方針」 「茶の湯」の文化を尊重し、本市の大きな魅力の一つとして「おもてなし」の心を常に持ち続けることが、歴史的風致維持の向上を目指す上でも非常に重要である。</p> <p style="text-align: center;">定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付</p>		
<p>堺では、広く茶の湯を楽しむ文化が連綿と受け継がれ、茶の湯は今でも多くの市民の皆様々に愛されている。そのような中で、茶の湯の文化を振興することによる、市民の豊かな心の醸成と都市魅力の向上を目的として、平成30年10月1日に「堺茶の湯まちづくり条例」を制定するとともに、茶の湯関連事業を実施することで、歴史の重層性により育まれた堺の都市魅力の発信と共有に繋がった。</p> <p>○茶の湯関連事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度「堺おもてなし茶会」3回 北区役所(90人)、美原区役所(41人)、本庁舎(1月17日実施) ・歴史文化をいかしたまちづくりシンポジウム 宇治市・田辺市・高松市・堺市の市長で茶の湯をはじめ、歴史文化についてのパネルディスカッションを実施 来場者数 444名 			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし			
状況を示す写真や資料等			
			
歴史文化をいかしたまちづくりシンポジウム (令和元年8月23日)			
			
北区役所 堺おもてなし茶会 (令和元年6月21日)		美原区役所 堺おもてなし茶会 (令和元年9月20日)	

評価軸⑥-1
その他(効果等)

評価対象年度 令和元年度

項目

環濠都市界の魅力発信による意識醸成

計画に記載している内容

「歴史的風致の維持及び向上に関する方針」
市民への情報発信、あるいは“堺で育まれてきた歴史・文化資源”に触れる機会の創出などに取り組み、市民の意識醸成を促進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

堺環濠エリアの歴史文化の継承とともに新たな魅力を創出し、生活する人も訪れる人も愛着が持てる活気ある堺の実現に向けて、本市と地域のまちづくり団体等で構成される「堺環濠町づくり協議会(通称:環濠茶論)」を平成29年3月に設立した。協議会事業としてSNSを活用した情報発信やイベントの開催など、堺環濠エリアの認知度向上や市民意識の醸成に向けて取り組み、歴史の重層性により育まれた堺の都市魅力の発信と共有を図った。

○令和元年度の取組

- ・令和2年3月8日 散策イベント(新型コロナウイルスのため延期)
- ・令和2年2月8日～3月22日 ウォークラリー開催(賞品交換者数98人)
- ・令和2年3月 散策マップ、環濠エリア紹介パネル、ポスター等の作成

○Instagram 令和元年度投稿数:86、リーチ数令和元年度増加分:34,465、フォロワー数:452

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

○ウォークラリーチラシ

「環濠」とは、町の周りにめぐらせた堀のことです。中世の堺は国際貿易都市として繁栄しました。「合衆」と呼ばれる豪商たちが、戦乱から町を守り、自治による都市運営をするために「環濠都市」を形づらけたのです。大坂夏の陣で豊臣方に火を放たれ、一度 灰燼に帰しますが、徳川幕府の命で新たな都市計画(元和の町割りの元、復活します。現在は、内川、土居川、土居川公園に囲われた南北3km、東西1kmにおよぶ地区を環濠エリアと呼んでいます。江戸時代から戦前の建築物や、まちなみの一部が残されており、400年以上前から続く歴史に思いをはせることができます。

CanGo 環濠茶論(さかいかんごう)ウォークラリー

お問い合わせ 環濠茶論(堺環濠町づくり推進協議会)事務局 ☎072-228-7480(平日9時～17時30分) 〒590-0078 堺市堺区南瓦町3番1号(堺市市民会館金西館内) http://cango-sakai.com

ウォークラリーに関するご注意

- 本チラシは大量印刷ですので、最初にのみご確認ください。また、定数に十分注意してご参加ください。
- 各チラシには、イベントの開催日時・場所・参加費・お問い合わせ先が記載されています。必ずご確認ください。
- ウォークラリーには、イベントの内容(専用アプリの使いかた)・ポイントの集め方に関するお問い合わせは、お答えできませんので予めご了承ください。
- ウォークラリーに参加する場合は、必ずスマートフォンを持ってください。また、スマートフォンにはGPS機能が有効になっていることをご確認ください。
- ウォークラリーに参加する場合は、必ずスマートフォンを持ってください。また、スマートフォンにはGPS機能が有効になっていることをご確認ください。

CanGo 堺環濠ウォークラリー

開催期間 2/8(土)～3/22(日)

堺環濠ウォークラリーは、中世～江戸時代にかけて環濠(かんごう)と呼ばれる堀に囲われていた堺環濠エリア内を歩き、スマートフォンアプリを使ってスタンプを集めながら、地域について学ぶイベントです。

スタンプを5つ集めてさかい利品の店で提示いただいた方に商品进行品をプレゼント!

歩いて学ぶ“まちめぐり”で賞品を!

Copyright ©環濠茶論. All Rights Reserved.

評価軸⑥-1 その他(効果等)		評価対象年度	令和元年度
項目			
子ども観光ガイドの活性化			
計画に記載している内容	「歴史的風致の維持及び向上に関する方針」 古くから受け継ぎ、洗練してきた歴史・文化資源を大切にし、さらに将来へと引き継ぐためには、市民が堺固有の歴史・文化を十分に理解し、共感し、さらに誇りを持つことが不可欠である。		
	定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付		
<p>子どもの頃から郷土に関心を持ち、その魅力に気づくことによって、郷土愛を育み、おもてなしあふれるまちをめざすことを目的に、NPO法人堺観光ボランティア協会の協力のもと「子ども観光ガイド体験」を実施した。 堺区の小学生が、観光客や地域の方などに対し、仁徳天皇陵古墳や地元の魅力などについてガイドを行った。 子どもたちは地元のおすすめスポットの紹介なども織り交ぜながら、自作のフリップや写真などを用いたり、クイズ形式を取り入れたりする工夫をして訪れた人に説明を行った。 なお、今年度は、堺高校がインバウンド対応として外国人に向けて英語でのガイド体験を実施した「観光ガイド体験プログラム」に、NPO法人堺観光ボランティア協会と堺区が協力した。</p> <p>○大仙小学校: 令和元年9月13日 小学校6年生77人 ○堺高校: 令和元年8月22日 高校生21人</p>			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	子ども観光ガイドを実施する学年やガイド時期について検討し、次年度以降も小学校と協議しながら実施する。		
状況を示す写真や資料等			
<p>○子ども観光ガイドの様子</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>大仙小学校 令和元年9月13日</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>堺高校 令和元年8月22日</p> </div> </div>			

評価軸⑥-1
その他(効果等)

項目 評価対象年度 令和元年度

自転車等による回遊性の向上(1)(「SAKAI散走」の実施)

計画に記載している内容 「歴史的風致の維持及び向上に関する方針」
数多くの来訪者が堺の歴史や文化に触れ、感じ、共感してもらえるよう、現存する資源を有効活用し、回遊性の向上に向けた基盤整備等の環境整備を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

散歩するようにゆっくりと自転車で、点在する名所や旧跡などを巡る「SAKAI散走」を実施することにより、堺の歴史や文化に触れるきっかけづくりやまちを巡ることでの回遊性向上及びまちの賑わいの創出を図る。また、散走を通じてあらためて自分のまちの良さや魅力に気づき、個々に伝えていくことでまちの活性化及び継続したまちづくりにつなげていくことを目的とした講座を開催。

○平成31年4月20日：第2回SAKAI散走アンバサダー養成講座の開催(主催：堺市中心市街地活性化協議会)

○令和元年9月17日：堺自転車の楽校『自転車メンテナンスとSAKAI散走』の実施

(主催：堺 自転車のまちづくり・市民の会)

○令和元年10月26日：第3回SAKAI散走アンバサダー養成講座の開催(主催：堺市中心市街地活性化協議会)

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画の進捗に影響あり

計画の進捗に影響なし

- ・継続した取組みを進めるための組織作り
- ・人材育成

状況を示す写真や資料等

○第2回SAKAI散走アンバサダー養成講座の開催(平成31年4月20日)



○堺自転車の楽校『自転車メンテナンスとSAKAI散走』の実施(令和元年9月17日)



○第3回SAKAI散走アンバサダー養成講座の開催(令和元年10月26日)



評価軸⑥-1
その他(効果等)

評価対象年度 | 令和元年度

項目

自転車等による回遊性の向上(2)(自転車タクシー走行実験の実施)

計画に記載している内容 「歴史的風致の維持及び向上に関する方針」
数多くの来訪者が堺の歴史や文化に触れ、感じ、共感してもらえるよう、現存する資源を有効活用し、回遊性の向上に向けた基盤整備等の環境整備を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

○環濠エリアなどに点在する歴史・文化資源を活用し、「自転車のまち堺」を打ち出しながら堺のまちの回遊性を高めることで地域の賑わいを創出することを目的に、堺産自転車タクシーを用いての走行実験を実施した。
(実施期間:令和元年11月1日~10日・秋季堺文化財特別公開関連施設やフェニーチェ堺への送迎等を実施)
○これまでの自転車タクシー走行実験結果を参考に、民間主体による堺産自転車タクシーの運営を令和2年4月以降に開始予定である。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画の進捗に影響あり
 計画の進捗に影響なし

単なる移動手段としてではなく、ドライバーがガイドを行いながら観光拠点を周遊するなど付加価値を付けて採算性を確保できる事業を構築する必要がある。

状況を示す写真や資料等

○自転車タクシー走行実験の様子(令和元年度の様子)



○自転車タクシースターティングセレモニーの様子(平成元年度の様子)



評価軸⑥-1 その他(効果等)		評価対象年度	令和元年度
項目			
自転車等による回遊性の向上(3)(民間事業者主導によるシェアサイクルの導入の検討)			
計画に記載している内容	「歴史的風致の維持及び向上に関する方針」 数多くの来訪者が堺の歴史や文化に触れ、感じ、共感してもらえるよう、現存する資源を有効活用し、回遊性の向上に向けた基盤整備等の環境整備を進める。		
	定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付		
シェアサイクルとは、複数のポート(自転車の貸出・返却拠点)を設置し、利用者がどこのポートでも貸出・返却できるシステム。 世界遺産の百舌鳥古墳群や旧市街地・環濠エリアなど堺の歴史文化を自転車で周遊できるようポートを設置することで回遊性を高め、堺の魅力発信やまちの賑わい創出などにつなげていく。 ○令和元年11月 プロポーザル実施 ○令和2年1月から 実証実験に向けて準備 ○令和2年3月10日 実証実験開始			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	・回遊性向上に向けたポート設置場所の検討及び利用促進の周知啓発		
状況を示す写真や資料等			
○令和2年3月10日 堺市シェアサイクル実証実験開始			
			
↑【御陵前交差点ポート】		【ザビエル公園ポート】→	
↓【ポルトス堺(堺駅西口)ポート】			
			

評価軸⑥-1 その他(効果等)		評価対象年度	令和元年
項目			
第5回近畿歴史まちづくりサミット in堺の開催			
計画に記載している内容	<p>「歴史的風致の維持及び向上に関する方針」 市民への情報発信、あるいは“堺で育まれてきた歴史・文化資源”に触れる機会の創出などに取り組み、市民の意識醸成を促進する。</p> <p style="text-align: center;">定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付</p> <p>令和元年7月に「百舌鳥古市古墳群」が世界文化遺産に登録されたことを受け、「第5回近畿歴史まちづくりサミット」を堺市で開催した。また、サミット開催に先立ち「歴まち認定都市パネル展」を開催し、歴史文化遺産を活かしたまちづくりについて広く情報発信を行った。</p> <p>【歴まち認定都市パネル展】 開催日時：(1回目)令和元年12月23日～27日、(2回目)令和2年1月15日～23日</p> <p>【第5回近畿歴史まちづくりサミットin堺】 開催日時：令和2年2月1日</p> <p>プログラム： ・基調講演 ～世界文化遺産登録を契機としたまちづくりの展望～ ・パネルディスカッション ～歴史文化遺産を守り・育む・まちづくり～ ・近畿歴史まちづくり都市パネル展</p> <p>参加者数：150人</p>		
		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし			
状況を示す写真や資料等			
○歴まち認定都市パネル展実施状況			
			
1回目(令和元年12月23日～27日)	2回目(令和2年1月15日～23日)	パネル展示状況	
○歴まちサミット実施状況			
			
	サミット実施状況(令和2年2月1日)		

評価対象年度		進捗評価 令和元年度
法定協議会等におけるコメント		
コメントが出された会議等の名称: 堺市歴史的風致維持向上協議会		
会議等の開催日時: 令和2年4月23日(書面開催)		
(コメントの概要)		
<p>○「歴史的建造物の周辺市街地の環境」を古墳群と環濠の周辺に限っていることが、今後の課題ではないか。古墳群、環濠周辺だけでなく中心市街地全体の都市計画や歴史都市堺を創ろうという発想が必要。</p> <p>○歴まち計画の事業が相互にどのように関わっているのか、どのような地域づくりが進んだのか、総合的な位置づけがあるとわかりやすい。</p> <p>○百舌鳥古墳群ガイダンス施設については計画変更になったが、ガイダンス機能は必要であり、早急な対応が求められる。</p> <p>○歴まちに位置づける各事業が多く報道で取り上げられ、事業の効果が表れていると考えられる。</p> <p>○百舌鳥古墳群に加えて中世都市とその環濠、近代都市堺も第一級の文化財である。今後、環濠都市区域により比重を置き、歴まち事業の中心に据えていくことを考えてほしい。</p> <p>○観光ボランティアや地元協議会活動の支援など市民との協働活動を引き続き促進していただきたい。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症対策の中で、対面・対人的活動がかなり制約されるため、事業展開の見直し等の必要性について、検討しておくことが必要ではないか。</p>		
(今後の対応方針)		
<p>○新型コロナウイルス感染症による来訪者の減少が危惧される中で、感染症対策に取り組みながら、本市の歴史・文化について地元住民や市民の理解を高めるための取り組みを行うとともに、来訪者の受け入れに向けて、周遊環境の向上や情報発信に取り組む。</p> <p>○環濠都市区域の魅力向上に向けて、今後のまちづくりの方向性について検討するとともに、引き続き、地域住民とも連携しながら歴史的なまちなみの再生に取り組む。</p>		